

貸借対照表（B/S : Balance Sheet）の解説

令和5年度 葉山町下水道事業会計予定貸借対照表
 （令和6年3月31日）

（単位 千円）

○『貸借対照表』とは・・・？

一定の時点（年度末）における事業が保有する財産の残高を表した報告書です。

○『貸借対照表』から分かることは・・・？

資産は事業の経営の活動手段である資金の運用形態を示し、負債・資本においては、その資産がどのようにして得られたかという調達源泉を示しています。これにより、事業の財政状態（ストック）を把握することが可能となります。

資産の部

土地、建物、構築物、現金預金など、企業の所有財産が記載されています。

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	20,957,655	固定負債	5,226,668
有形固定資産	20,957,655	企業債	5,226,668
土地	155,743	流動負債	702,735
建物	910,476	企業債	614,977
構築物	22,660,749	未払金	82,798
機械及び装置	1,102,913	引当金	4,960
車両及び運搬具	8,388	繰延収益	10,316,858
工具器具及び備品	8,710	長期前受金	12,470,785
減価償却累計額	△4,249,341	収益化累計額	△2,153,927
建設仮勘定	360,017	負債合計	16,246,261
流動資産	204,747	【資本の部】	
現金預金	92,292	資本金	4,174,589
未収金	112,488	剰余金	741,552
貸倒引当金	△33	資本剰余金	77,138
		利益剰余金	664,414
		資本合計	4,916,141
資産合計	21,162,402	負債・資本合計	21,162,402

負債の部 28.02%

（前年度比 ▲1.75）

固定・流動負債

企業債など支払義務があるものが記載されています。

負債の部 48.75%

繰延収益

（前年度比 +0.34）

資産（構築物）の取得のために交付された補助金など、支払義務がないものが記載されています。

資本の部 21.82%

（前年度比 +1.41）

資本金や事業で得られた利益など、返す必要のない資金が記載されています。

★注目ポイント

貸借対照表の右半分（お金の集め方）のバランスを見てみましょう！

前年度と比べ、支払義務があるものの割合が減り、逆に支払義務がないものの割合が増えていることが分かります。

このことから、財政状態は良好な方向に向かっていることが分かります。

左半分は『お金の使い方』

企業の財源がどのような状態で、いくらあるか把握できます。

右半分は『お金の集め方』

企業の財産がどのような財源でつくられたか把握できます。